

# だいぎ 議会だより

No.190

2022  
令和4年  
10月発行

## 決算認定

令和3年度決算を振り返る……………P4～5

## 一般質問

5名の議員が6項目を問う……………P8～11

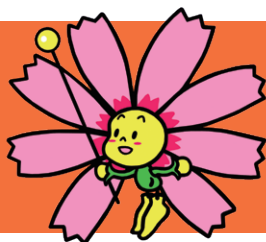
## 委員会報告

「国立図書館について」「自然災害等防災対策の強化の取組について」など  
所管事務調査・行政視察を実施……………P12～13

※柏林公園まつり緑日グースでの1枚。景品に当たるかどうか、緊張の瞬間です。

発行／北海道大樹町議会  
編集／大樹町議会広報広聴常任委員会

# 歳出予算総額を 円に補正



補正予算や決算認定、  
意見書提出など29件  
を審議

## 白熱議論を経て 令和3年度各会計決算を認定

令和3年度決算認定	歳入総額	歳出総額
大樹町一般会計	118億3,619万9,608円	114億7,408万3,757円
大樹町国民健康保険事業特別会計	7億468万1,853円	6億9,337万9,918円
大樹町後期高齢者医療特別会計	9,602万2,610円	9,543万6,308円
大樹町介護保険特別会計	7億2,493万9,367円	6億8,841万9,444円
大樹町介護サービス事業特別会計	3億8,607万832円	3億7,553万9,863円
大樹町水道事業会計	5億4,966万4,558円	7億175万7,628円
大樹町立国民健康保険病院事業会計	11億341万1,093円	11億173万7,053円
大樹町下水道事業会計	3億8,219万346円	4億5,510万9,125円

## 監査委員意見書

令和3年度一般会計他各特別会計の決算審査は、予算の執行において、関係法令に従い、適正かつ効率的に執行されているか、それぞれの関係諸帳簿及び証拠書類の照合、並びに住民福祉の増進という町行政の本旨に沿った執行が行われているかに主眼を置き、延べ24日間審査を実施した。

いずれの調書においても法令に準拠して作成されており、所定の期間内に出納閉鎖がなされ、関係諸帳簿及び証拠書類等と照合精査した結果、計数に誤りはなく正確であり、かつ関係法令にも適合し、予算の執行も概ね適切に行われたものと認める。



澤尾廣美代表監査委員

## 意見書の提出

### 地方財政の充実・強化に関する意見書

【提出先】 衆参両院議長、内閣総理大臣、財務大臣、総務大臣、厚生労働大臣、内閣府特命担当大臣（地方創生）、内閣府特命担当大臣（経済財政政策）

### 国土強靭化に資する社会資本整備等に関する意見書

【提出先】 衆参両院議長、内閣総理大臣、財務大臣、総務大臣、国土交通大臣、国土強靭化担当大臣

第3回  
定例会

# 議案審議

9月6日～9月16日開催

一般会計歳入  
84億6,647万

行政報告に対する



質疑と答弁



**問** 菅 敏範 議員

旧北保育園の今後の利用はどのような形で議論を進めていくのか。建物の改修等について考えているか。

**答** 清原保健福祉課長

今後の利活用については、関係団体と相談して検討を進めている。今のところ決まっている利用団体は柏木町行政区と柏寿クラブ（老人クラブ）で、引き続き利用を希望している。その他、数団体から利用の意向を受けているが、明確な方向性は協議中。施設の改修は、利用団体等を精査していく中で、必要な部分は改修していかなければと考えている。



一般会計予算 **5億8,739万7,000円** を追加補正 **原案可決**

## コミュニティバス運行事業

令和4年12月運行開始

コミュニティバスが納車されるまでの間、代用車として利用する公用車（ワゴン車）の乗降口に「手すり」と「電動格納式踏み台」を装備します。



## 電算システム整備事業

令和5年度からオンライン申請開始予定

マイナンバーカードを利用した子育て及び介護関係の手続きについて、国と自治体が連携して、オンラインで申請受付を行うためのシステムを導入します。

## 公衆浴場運営費

安心して利用できる環境を整えます

公衆浴場に、新型コロナウイルス感染症対策に効果がある空気清浄器2台を購入して脱衣所に設置します。

## 新型コロナウイルス対策事業

4回目の接種対象者が拡大されました

新型コロナウイルスワクチンの追加接種（4回目）の対象者に、医療従事者等が新たに追加されたため、接種委託料を増額します。



## 図書館管理運営費

図書購入の指定寄附を受けました

今年6月に受けた指定寄附により、児童書、美術書、大活字本などを購入します。



# 算 審 査 特 別 委 員 会

安田議長と村瀬監査委員を除く10名で徹底審議！



町で管理している柏林公園の遊具



「早期的に措置を講ずべき」15号橋(石坂)の破損部分

**問 船戸 健二 委員**

子どもたちや保護者が安心して利用できるよう町内の公園の整備回数を増やし、遊具の清掃状況の見守り体制を強化する必要があるのでは。

**答 奥建設水道課長**

草刈、清掃を含めた管理業務の内容については、すべての公園の相対的な予算の枠と、今後予想される人件費や、燃料の価格も考慮して検討したい。

**問 西田 輝樹 委員**

地域おこし協力隊のような交付税措置のある人材確保の制度にはどのようなものがあるのか。

**答 黒川副町長**

地域支援員制度、地域活性化起業人制度のほか、首都圏の企業から人材が派遣される地域プロジェクトマネージャー制度などがある。

**問 西山 弘志 委員**

大樹町には全103か所の橋があるが、橋梁長寿命化事業の点検による健全診断結果は。

**答 奥建設水道課長**

「緊急的に措置すべき」は0橋、「道路橋の機能に支障が発生する恐れがあり、早期的に措置を講ずべき」は7橋、「機能の支障はないが予防措置を講じることが望ましい」は45橋、「機能的に支障がない」は51橋という結果となった。

**問 菅 敏範 委員**

アライグマの生息数が異常に増加している。駆除体制を強化すべきでは。

**答 酒森町長**

アライグマの被害対策は全道的な課題であり、今後、動向を注視し、必要なものについては対策を講じて、生態系や営巣の情報を得ながら取り組んでいきたい。

**賛成**

**辻本 正雄 議員**

健全化判断比率や資金不足比率において、基準値内の比率を維持しており、引き続き健全な財政状況であることが評価できるとともに、予算も効率的かつ適正に執行されていると考える。よって、本案に賛成する。

決算討論 一般会計

**反対**

**志民 和義 議員**

税の滞納者対策は、滞納整理機構に負担金を支出するのではなく、町職員で解決することが重要で、住民の事情をよく知る町職員には解決していく力が備わっていると考える。よって、本案に反対する。

**賛成**

**西山 弘志 議員**

後期高齢者医療制度は、高齢者の方が安心して医療を受けられるよう構築されたもので、安定した事業運営が行われており、町の事務処理も適切に遂行されていると考える。よって、本案に賛成する。

決算討論 後期高齢者医療特別会計

**反対**

**志民 和義 議員**

後期高齢者医療制度は、発足当初から高齢者を区別するものであるとの批判が多く、それまでの老人保健制度による事業運営で問題なかったと考える。よって、本案に反対する。



齊藤 徹 委員長

# 令和3年度決

9月12日～9月15日開催



砂利の不足等、整地が必要な町道



通園バスを利用する園児

**問** 松本 敏光 委員

町道の砂利道について、水が溜まっている状況が目立つが、砂利補修資材の予算を増額する考えは。

**答** 奥建設水道課長

今後も例年同様の規模で実施したい。損傷の激しい場所や砂利の不足があれば、応急に対応する。

**問** 寺嶋 誠一 委員

令和元年度より譲与されている森林環境譲与税は市町村ごとの私有林人工林面積、林業就業者数及び人口による基準で按分されているが、今後の譲与額の増減見込みは。

**答** 松木農林水産課長

算定方法の基礎数値は5年に1回程度変わってくるが、譲与する全体額が増えていくので、4年、5年は概ね1,500万円前後、その後は1,800万円前後と見込んでいる。

**問** 志民 和義 委員

高校生の医療費を無料化しては。

**答** 酒森町長

高校生に限らず、町民全体が健康で安心して暮らせる町づくりのための取組を進めていく。

**問** 吉岡 信弘 委員

スクールバス、こども園の通園バスでの学童、乳幼児置き去り防止について、町と教育委員会の指導及び委託先、学校、こども園での対策は。

**答** 井上学校教育課長

スクールバスの運転管理者には日頃から安全運転を励行するよう指導している。また、介助が必要な児童には介助員がバスに同乗している。

**答** 清原保健福祉課長

こども園のバスは運転手のほかに介助員が同乗し、降車時には子どもを置き去りにしていないか確認している。

**問** 辻本 正雄 委員

農業用排水路支障木伐採処理工事により伐採した木を木質チップ燃料として有効活用できないか。

**答** 伊勢企画商工課長

以前、建築廃材等でチップを作成し、晩成温泉で試験的に活用したが木質ボイラーに合わなかった。今後、課題が解決され支障木等の再利用を図っていければ、再生エネルギーの利活用にも繋がると考える。

## 表決の分かれた議案

※齊藤委員長は表決に参加しません

議 案 名	寺嶋誠一	辻本正雄	吉岡信弘	西山弘志	船戸健二	松本敏光	西田輝樹	菅敏範	志民和義	齊藤徹	結果
令和3年度大樹町一般会計決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	×	-	認定
令和3年度大樹町後期高齢者医療特別会計決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	×	-	認定

## 第3回 臨時会

# 議案審議

## 8月2日開催

報告1件、  
補正予算2件、  
契約の締結1件、  
財産の取得1件を審議

一般会計予算 **1,401万9,000円** を追加補正 **原案可決**

### 戸籍住民基本台帳管理事業

#### マイナンバーカードの普及促進

マイナンバーカード普及を図るため、パートタイム会計年度任用職員1名を雇用し、臨時窓口の開設や町内事業所への訪問などを行います。

**問** 齊藤 徹 議員

マイナンバーカード取得の目標数値と周知方法は。

**答** 水津住民課長

全国平均45%を上回る形で定めている。ホームページや無線放送等で周知するほか、企業に出向き申請臨時窓口を開設する。

#### 証明書用契印機の購入

窓口で発行する証明書用の契印機が故障したため、新たに購入します。

契印機とは…証明書に割印の役割を果たす穴文字を打ち抜き、同時にとじ込む機器です。

※大樹町の証明書には

**大01641**

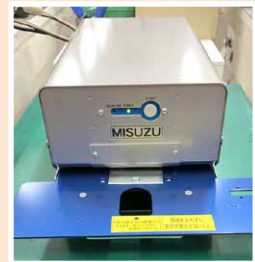
と打ち抜きます

「大」

→大樹町の頭文字

「01641」

→大樹町の自治体コード



### 持続的畑作生産体系確立 緊急対策事業

#### 持続可能な畑作生産体系確立支援

畑作産地において病虫害の発生リスクの低減やバレイショの種子安定供給、新たな需要拡大の取組などを支援するため、国の補助事業により、実施事業者への補助金を交付します。

### 有害鳥獣駆除事業

#### 熊用箱わなの修繕費用

有害鳥獣駆除に使用している熊用の箱わなが破損したため、修繕を行います。



### 北海道スペースポート整備事業 工事請負契約の締結

一般競争入札（総合評価型）により工事業者を決定しました。



射場完成イメージ図

工事名	契約金額	契約の相手方
北海道スペースポート整備事業に係る工事のうち、LC-1射場・滑走路延伸詳細設計及びLC-1射場土木工事	6億3,965万円	日本工営・黒川・清水・宮坂 特定建設工事共同企業体

9月  
定例会  
より

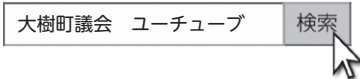
# YouTubeで 議会中継が始まりました!!



## 視聴方法

### ▶ 検索サイトから

- ① 検索サイトで「大樹町議会 ユーチューブ」と検索
- ② 表示されるYouTubeのサイトを開く



### ▶ 大樹町ホームページから

- ① ホームページの「大樹町議会」のバナーをクリック
- ② 「議会中継」のタイトルの下にある「ライブ中継・過去の録画中継はこちらから」をクリック
- ③ ライブ中継または過去の録画中継のリンクをクリック



ご自宅のスマートフォンやタブレット端末、パソコンなどで気軽に町議会を傍聴できます！

### ⚠️ ご注意

スマートフォンやタブレット端末等による視聴は、ポケット通信料定額制の加入契約をしていない場合、通信事業者から高額な料金を請求される場合があります。Wi-Fi環境下での視聴をお勧めします。

### ◎チャンネル登録をお願いします！

チャンネル登録すると、ライブ中継が始まった際や、新しい動画が公開される際に、通知を受け取ることができます。ぜひご登録ください。

大樹町議会  
チャンネル



# 町民の声を町政に届ける

## 一般質問

5名の議員が6項目について質問

### 西田 輝樹 議員

◎町立図書館について

### 西山 弘志 議員

◎自然災害等防災対策の強化の取組について

### 吉岡 信弘 議員

◎町独自の子ども子育て支援給付金について  
◎低所得の高齢者世帯などへの生活支援について

### 寺嶋 誠一 議員

◎地方創生のためのSDGsについて

### 齊藤 徹 議員

◎大樹高校存続と普通科新学科への支援策について



## ◆一般質問とは◆

一般質問は、町の事務や事業に関して質問できる大事な議員活動の場です。年4回の定例会に行い、臨時会ではできません。

### ・質問時間は30分

大樹町議会では、議員が質問できる時間は1問につき30分以内です。答弁に制限時間はありません。

### ・一問一答方式

議員と町長が対面して、1つ質問をして、1つ回答をします。

### ・事前通告

質問したい議員は、前もって質問内容を記した「事前通告書」を提出しなければなりません。

### ・登壇順（質問順）

原則として、通告書の提出順に質問します。

## 二次元バーコードから一般質問の動画をご覧いただけます！

今回の議会だよりから、一般質問のページに二次元バーコードを掲載しました。一般質問の動画を議員ごとにご覧いただけます。

### 二次元バーコードの読み取り方

スマートフォンやタブレット端末のカメラまたは二次元バーコード読み取り用アプリケーションを開き、二次元バーコードを画面に写すと、動画のページが表示されます。

二次元バーコードを読み取れない場合には、下記の方法でご覧いただけます。

- ①検索サイトで「大樹町議会 ユーチューブ」と検索
- ②大樹町ホームページの「大樹町議会」のページから



※読み取りイメージ





西田 輝樹 議員

詳しい内容は録画映像をご覧ください



質問

# 町立図書館の活性化について

答

第6期総合計画で検討する

Q1 町立図書館について

**質問** 現行図書館の運営について。

**答** (沼田教育長) 多層配置のため運営に課題はあるが、子どもの居場所確保や経費低減に有効である。

**質問** 具体的な人員配置や予算措置について。

**答** (沼田教育長) 職員3名と会計年度任用職員3名で、土日は2名、平日は3〜4名で勤務し、1名は大樹小、中学校に学校司書として派遣している。

**質問** 電子図書への対応について。

**答** (沼田教育長) 時間や場所を選ばず貸し出しを行えるメリットもあるが、高齢者の利用や初期費用、コスト高などがあり、早急なサービスの考えはない。

**質問** 図書館の休館日について。

**答** (沼田教育長) 図書館の休館日は、毎週月曜日、国民の祝日と重なるときはその翌日となる。今後の図書館の休館日の方については、近隣市町村の状況や当館の職員数のほか、ニーズを踏まえながら検討していく。

**質問** 新図書館の建設について。

**答** (酒森町長) 生涯学習センター内に図書館があることで、生涯学習機能の充実が図られていると思っている。第6期総合計画で検討する。



西山 弘志 議員

詳しい内容は録画映像をご覧ください



質問

# 浜大樹・旭浜における津波避難タワーの整備が必要では

答

垂直避難先の確保は、今後、検討が必要と考える

Q1 自然災害等防災対策の強化の取組について

**質問** 道は巨大地震の被害想定を公表し、最悪のパターンで津波が冬の深夜に起きたケースとして、大樹町は人的被害250人、建物被害220棟と想定されている。

一人も犠牲者を出さない防災体制の強化の取組について、浜大樹・旭浜における津波避難タワーの設置は町の急務では。

**答** (酒森町長) 津波避難タワーの建設などによる垂直避難先の確保は、今後、検討の必要があると考えている。

事業費等財源のあり方について道に要請しながら、地域の声を確認したうえで検討を進めたい。

**質問** 避難行動要支援者の家に避難確認できる目印を設置する考えは。

**答** (吉田総務課長) 町としてどのような取組ができるか、地域と話し合いながら進めていきたい。

**質問** 学校防災マニュアルの作成は。

**答** (沼田教育長) 学校保健安全法に基づき、小中学校とも危機管理マニュアルを作成しており、今年度はマニュアルの点検・評価を行い、見直しガイドラインを参考に、危機管理マニュアルの見直し、改善を進めている。

※内容を要約し、発言順に掲載しています。



吉岡 信弘 議員

詳しい内容は録画映像をご覧ください



## 低所得高齢者世帯等に生活支援を

質問

答

福祉灯油対象世帯等に12,000円を支給検討

Q1 町独自の子ども子育て支援給付金について

**質問** 赤ちゃんの誕生は、一番の社会貢献であり、町経済の活性化、大樹町の発展に寄与する。

子育て世帯が安心・安定した生活を送ることができよう、支援することが必要だと思いが、子育て世帯に対し、児童手当のような月額による給付金を町独自で支給する考えはないか。

お金を惜しまない子育て支援が必要と思うが。

**答** (酒森町長) 財政状況を含め効果的な施策に取り組んでいく。

子ども子育てに対する事業・財源を惜しむ考えはない。予算の範囲で最大限の支援をする。

Q2 低所得の高齢者世帯などへの生活支援について

**質問** 世界情勢の影響を受け、円安が進み物価上昇が続いている。

物価高の影響を受けやすい町民税非課税世帯で65歳以上の高齢者世帯と障害者世帯数は、これらの方々に早急な生活支援を検討、実施する予定は。

**答** (酒森町長) 高齢者世帯は440世帯、障害者世帯は126世帯である。

今年度も実施する福祉灯油対象世帯等に、道補助を活用し、12,000円を支給することを検討している。

## SDGs未来都市の選定に取り組む考えは

質問

答

選定に向けての取組が具体になった段階で検討



寺嶋 誠一 議員

詳しい内容は録画映像をご覧ください



※内容を要約し、発言順に掲載しています。

Q1 地方創生のためのSDGsユニコン

**質問** 地方創生のモデルとして、いち早くSDGs未来都市の選定に取り組む考えはあるか。

**答** (酒森町長) 国は、本年度までに154自治体をSDGs未来都市に選定し、令和6年度末までに累計210自治体を選定している。

町では今年度より次期総合計画や再生可能エネルギー導入計画の策定に取り組んでいるところ。

今後人口減少やゼロカーボンなどの地域課題解決に向けた施策を推進するうえで有効になるのであれば、選択肢の一つになると考えている。

**質問** 大樹町では、他町村にない北海道スペースポート計画に関わる航空宇宙関連事業が着々と進行している。

この壮大な事業は、地方創生の地域課題の一つでもある人口減少の歯止めにも大きく効果があり、国の選定基準にある先進事例や普及展開に合致し、多分にSDGs未来都市選定に優位になると考える。ぜひとも道内で第5番目を目指し進めていただきたい。

**答** (酒森町長) 町が取り組んでいる地方創生の取組と、SDGsの取組をどう融合していくかが課題であり、SDGs未来都市の選定に向けての取組が具体になった段階で検討したい。



齊藤 徹 議員

詳しい内容は録画映像をご覧ください



質問

再度、再編整備がなされた場合「町立」の考えは

答

場合によっては「町立」運営も検討する

Q1 大樹高校存続と普通科新学科への支援策について

**質問** 新学科転換は官民一体の支援が不可欠である。行政としての支援体制は。

**答** (沼田教育長) 航空宇宙関連企業や多種多様な地域人材が参画しており、高校と連携を密にし、必要な支援をしていきたい。

**質問** 定員(一問口40名)を下回って続いた場合、統廃合に繋がっていくのか。

**答** (沼田教育長) 入学者20名を下回っていけば統廃合に繋がっていく。道教委としては、二問口以下は再編整備の対象となる。これまでの地域の状況から定員の半数20名を目安としている。

**質問** 令和5年度は一問口決定。令和6年度新学科転換後は二問口への期待もあるのか。

**答** (井上学校教育課長) 地域と十分相談しながら間口を決定していきたいというのが道教委の見解。

**質問** これまでの出願実績からも一問口でも地元進学率50%が大前提。今後の具体策は。

**答** (酒森町長) 新学科転換を好機と捉え、知恵を出し合って取組を進めていく。

**質問** 今後、再編整備(20名以下)の対象になった場合、「町立」への移管といった酒森町長の強い腹積もりはないのか。

**答** (酒森町長) 存続へあらゆる手段を講じる。場合によっては「町立」による運営も検討する。

議員提案

大樹高等学校あり方調査特別委員会を設置

令和4年第3回定例会最終日(9月16日)に、委員定数11名からなる大樹高等学校あり方調査特別委員会の設置について、議員案が提出され、可決されました。

設置目的・目標

公立高等学校配置計画を受け、大樹高等学校が永続的に存続する方法を提言するため、現況と課題について調査研究を行うことを目的として設置しました。

なお、調査期間は調査研究が終了するまでとし、閉会中も継続調査ができます。

委員

委員長	菅 敏範	副委員長	齊藤 徹	事務局長	辻本 正雄
委員	志民 和義	委員	西田 輝樹	委員	松本 敏光
委員	船戸 健二	委員	村瀬 博志	委員	西山 弘志
委員	吉岡 信弘	委員	寺嶋 誠一		

# して — 委員会活動報告 —

## 行政視察 視察結果の概要

福島県相馬市にて3か所の視察場所で調査を行いました。

### 総務常任委員会

#### 視察目的

福祉及び子育てに係る事業を展開する先進的な特定非営利活動法人を視察し、当町のまちづくりに資する。

#### ◆特定非営利活動法人 ライフネットそうま

高齢者福祉の充実を目的として、地域ボランティアによる在宅高齢者へのサービス事業を行っている。

##### 配食サービス

同時に安否確認も可能となる効率性の高いシステム。

##### 声掛け訪問サービス

希望者に対し行政区単位でチームを編成し、2人1組で実施。

**課題** ボランティアの高齢化と後継への世代交代が進まず、担い手が不足している。高齢者が毎日の生活を安心安全に過ごすことができる環境維持のために対策が急がれている。

→ 当町の高齢者福祉でも大いに参考にすべき事業であり、町が特定非営利活動法人等を活用するなど、行政区間の垣根を超え、まち全体の統一した福祉施策を行うべきと感じた。



#### ◆相馬井戸端長屋 (災害公営住宅)

東日本大震災により自宅を失い生活の再建が困難となった一人暮らしの高齢者や高齢者を含む世帯等が家庭的な環境の下で共同生活することにより、安心して尊厳のある生活を共に助け合いながら営むことを目的に整備された災害公営住宅。

##### 入居者の安否確認

長屋は市内に5棟整備され、各施設3人の管理人が交代で巡回。

##### 買い物弱者とならないための施策

入居者は移動販売車やミニバスを利用できる。

**魅力** 実質サービス付き高齢者向け住宅の機能があり、高齢者が安心して暮らせる。

→ 超高齢社会に向けて当町も見習う点が多く参考となった。



#### ◆特定非営利活動法人原釜尾浜ワンパーク

東日本大震災の復興シンボル、多世代間のコミュニティーの場として、子どもたちが遊び、人が集い交流できる憩いの場をコンセプトに、住民の要望により整備された複合施設。地域の7つの行政区の漁業、旅館、商店等の代表者17名で特定非営利活動法人を立ち上げた。

##### 市からの委託による管理事業

尾浜こども公園、尾浜ビーチバレーボール場等の管理。

##### 一年を通じて子どもたちが遊ぶことができる施設

公園には大型複合遊具が整備され、多目的ホールには屋内遊具が設置されている。

**課題** 住民参加の施設管理は人口減少や高齢化など長いスパンでの運営計画の樹立が重要。

→ 当町の喫緊の課題、子どもの遊び場、多世代間交流の場の整備において参考となった。



# 暮らしやすい町をめざ

## 所管事務調査 各委員会での考察

### 調査テーマ

### 第5期大樹町総合計画基本計画の検証について

～第6期総合計画策定に向けた検討課題を明らかにする～

#### 総務常任委員会

##### ◆介護：特別養護老人ホーム・デイサービスセンターについて

人件費が要因で一般会計からの約1億円の繰出金が常態化している。一方で介護職員の不足が続いており、夜間体制には不安がある。介護ロボットやICT化等で職員の負担軽減と、赤字解消に向けた検討を行うことが今後の課題。両施設ともに老人福祉の中心的な役割を担う施設であるため、第6期総合計画には具体的に記述すべき。

##### ◆医療：町立病院について

一般会計からの繰出金が大きく、赤字解消の検討委員会を設置し早期に検討すべき。同時に地域・広域医療体制、緊急・専門医療機関との連携を再度検討する必要がある。コロナ禍で患者数が減少している一方、職員の負担は増えているため、オンライン診療等の普及も推進すべき。また、アンケート調査を実施し、住民から信頼される医療体制づくりを推進すべき。

##### ◆福祉：高齢者保健福祉推進センター「らいふ」について

保健師や介護支援専門員など専門職員が不足し、通常業務に加えてコロナワクチン接種業務により職員の負担が増えている。町は行政サービスの低下を招かないよう、専門職を適正に配置し、人的不足を解消する必要がある。また、町民の理解を深めるためのPR活動が必要である。



#### 経常常任委員会

##### ◆空き店舗の活用促進（空き店舗・空き家対策）について

商店街の活性化と起業の促進による産業の振興を図るためにも、今後も起業家等支援補助金の継続は必要であり、商工会と連携し、町の活性化のため更なる支援を期待する。空き家情報登録制度は、不動産会社が登録している物件は町が登録できないため、制度の見直しを検討する必要がある。安全で安心な住環境の確保のために、老朽化により倒壊の危険性がある住宅に対する解体費用の補助制度について検討を進めるべき。

##### ◆町内のバス交通の確保について

12月から市街地循環バスの運行が開始される予定であり、今後ふれあいバスやふまねっとの送迎等の循環バスへの移行の検討や、利用状況等を鑑みたルートや運行ダイヤの検証が必要となる。また、公共施設のロビーを待合所として活用するなど、利用しやすい環境の整備が利用者増加に繋がると考える。デマンドバスは今のところ運行予定はないが、あいのりタクシーなど民間の導入も視野に入れ、先進事例を参考として今後も検討を進めるべき。

##### ◆水道施設の整備と安定した水源の確保について

水道事業は、厳しい事業会計が続くなか、浄水場の老朽化や水道料金の見直し等課題は多い。坂下浄水場は経年劣化が進み、上流部の水質の懸念や水源の確保が困難であることを鑑み、十勝中部広域水道企業団からの受水と坂下浄水場の廃止に向け検討を進めるべき。水道料金は、採算性を踏まえ値上げの方向で検討が進むことが推測されることから、町民に対し、早い時点で段階的に周知が必要であると考えられる。



# 追跡



## レポート

第1回町議会定例会  
令和4年度予算で可決

### アルコール検知器の購入

町職員の公用車使用時の、アルコール検査を義務付けるため、検知器を購入し各部署に配置しました。

息を吹き込むと呼気中のアルコール濃度が測定されます



第2回町議会定例会  
一般会計補正予算で可決

### スケートリンク用備品の購入

堀川桃香選手からの寄附で、大樹町中央運動公園スケートリンクで使用するビデオカメラとスターターを購入しました。写真は、スターターのテストの様子です。



スタート合図音を電子的に発生させ、同時にタイマーへスタート信号を送ります



### 新型コロナウイルス感染症対応 地方創生臨時交付金を活用

### 自動検温消毒システムの購入

町民プールでの感染症対策として、自動検温消毒システムを購入しました。

マスク装着のまま検温でき、手をかざせばセンサーが感知して、ノータッチで消毒液が噴射されます



## 次の定例会は12月です。

ぜひ気軽に傍聴にお越しください。

詳細は議会事務局へお問い合わせください。

# TEL 6-5035

### 請願・陳情はどなたでもできます

議会は、住民の代表機関として、民意を広く行政に反映させるため、国や町の事務などに関する請願・陳情を処理することとなっています。

請願とは、憲法に規定された国民の権利として公の機関に対し、要望する行為で、紹介議員が必要となります。陳情も同様に扱われますが、紹介議員は必要ありません。



# 一目でわかる 審議結果

## 全会一致の議案

第3回臨時会	<b>専決処分した事項の報告について</b> 北海道において、低所得子育て世帯生活支援特別給付金の給付額を、1万円上乘せすることが決定したため、一般会計の歳入歳出予算をそれぞれ39万円追加し、予算の総額を78億6,505万4千円としました。	報告済
	<b>令和4年度大樹町一般会計補正予算（第4号）について</b> 歳入歳出それぞれ1,401万9千円を追加し、予算の総額を78億7,907万3千円としました。	原案可決
	<b>令和4年度大樹町介護保険特別会計補正予算（第1号）について</b> 歳入歳出それぞれ55万3千円を追加し、予算の総額を7億745万3千円としました。	原案可決
	<b>工事請負契約の締結について</b> <b>Point!</b> 5,000万円以上の工事請負契約の締結は議会の議決が必要です! 北海道スペースポート整備事業に係る工事のうち、LC-1射場・滑走路延伸詳細設計及びLC-1射場土木工事の請負契約を6億3,965万円で締結しました。	原案可決
	<b>財産の取得について</b> <b>Point!</b> 予定価格700万円以上の財産の取得は議会の議決が必要です! 行政情報端末機器としてノート型パソコン20台を689万9,970円で購入しました。	原案可決
第3回定例会	<b>令和3年度健全化判断比率について</b> 令和3年度の健全化判断比率は、監査委員による審査の結果、いずれも良好であると報告されました。	報告済
	<b>令和3年度資金不足比率について</b> 令和3年度の資金不足比率は、監査委員による審査の結果、いずれも良好であると報告されました。	報告済
	<b>教育委員会委員の任命について</b> 教育委員会委員に、石倉静佳氏を任命することに同意しました。	同意
	<b>大樹町コミュニティバス運行条例の制定について</b> 令和4年12月から市街地で運行開始するコミュニティバスの規定について、条例を制定しました。	原案可決
	<b>大樹町議会議員及び大樹町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部改正について</b> 公職選挙法施行令の一部を改正する政令が施行されたことに伴い、条例の一部を改正しました。	原案可決
	<b>大樹町職員の育児休業等に関する条例の一部改正について</b> 地方公務員の育児休業等に関する法律が改正されたことに伴い、条例の一部を改正しました。	原案可決
	<b>大樹町農業委員会の委員の定数に関する条例の一部改正について</b> 次期任期（令和5年7月20日から）より、農業委員会委員の定数を18人から14人に改正しました。	原案可決
	<b>町道路線の認定について</b> 柏木町で新たに町有地を宅地分譲するにあたり、分譲地に接する既設道路の一部について町道認定しました。	原案可決
	<b>町道路線の変更について</b> 柏木町で新たに町有地を宅地分譲するにあたり、分譲地に接する既設道路の一部の町道路線を延長しました。	原案可決
	<b>令和4年度大樹町一般会計補正予算（第5号）について</b> 歳入歳出それぞれ5億8,739万7千円を追加し、予算の総額を84億6,647万円としました。	原案可決
	<b>令和4年度大樹町国民健康保険事業特別会計（事業勘定）補正予算（第1号）について</b> 歳入歳出それぞれ127万4千円を追加し、予算の総額を6億7,827万4千円としました。	原案可決
	<b>令和4年度大樹町介護保険特別会計補正予算（第2号）について</b> 歳入歳出それぞれ3,755万9千円を追加し、予算の総額を7億4,501万2千円としました。	原案可決
	<b>令和4年度大樹町介護サービス事業特別会計補正予算（第2号）について</b> 歳入歳出それぞれ127万9千円を追加し、予算の総額を3億9,937万7千円としました。	原案可決

次のページへ続く

第3回定例会	令和4年度大樹町水道事業会計補正予算（第1号）について 収益的収入の予定額を4,157万2千円、収益的支出の予定額を5億1,773万4千円としました。 資本的収入の予定額を3億976万3千円、資本的支出の予定額を4億3,168万3千円としました。	原案可決
	令和4年度大樹町下水道事業会計補正予算（第1号）について 収益的収入の予定額を4億3,340万3千円、収益的支出の予定額を3億1,159万9千円としました。 資本的収入の予定額を3,587万8千円としました。	原案可決
	財産の無償譲渡について 晩成福祉会館敷地として指定寄附を受けた土地の一部を、会館の新築により寄附目的が消滅し、 利用計画がないことから寄附者相続人に無償譲渡しました。	原案可決
	令和3年度大樹町一般会計決算認定について 令和3年度歳入118億3,619万9,608円、歳出114億7,408万3,757円の執行について認定しました。	認定
	令和3年度大樹町国民健康保険事業特別会計（事業勘定）決算認定について 令和3年度歳入7億468万1,853円、歳出6億9,337万9,918円の執行について認定しました。	認定
	令和3年度大樹町後期高齢者医療特別会計決算認定について 令和3年度歳入9,602万2,610円、歳出9,543万6,308円の執行について認定しました。	認定
	令和3年度大樹町介護保険特別会計決算認定について 令和3年度歳入7億2,493万9,367円、歳出6億8,841万9,444円の執行について認定しました。	認定
	令和3年度大樹町介護サービス事業特別会計決算認定について 令和3年度歳入3億8,607万832円、歳出3億7,553万9,863円の執行について認定しました。	認定
	令和3年度大樹町水道事業会計決算認定について 令和3年度歳入5億4,966万4,558円、歳出7億175万7,628円の執行について認定しました。	認定
	令和3年度大樹町立国民健康保険病院事業会計決算認定について 令和3年度歳入11億341万1,093円、歳出11億173万7,053円の執行について認定しました。	認定
	令和3年度大樹町下水道事業会計決算認定について 令和3年度歳入3億8,219万346円、歳出4億5,510万9,125円の執行について認定しました。	認定
	地方財政の充実・強化に関する意見書の提出を求める陳情書 コロナ禍による行政需要なども把握しながら、予算を的確に見積り、地方財政の確立を目指す ものであることから、全会一致で採択としました。	採択
	日本政府に核兵器禁止条約の参加・調印・批准を求める陳情書 核兵器禁止条約に、日本政府が署名していない経過とその理由について、慎重に調査する必要 があるため、継続審査としました。	継続審査
	地方財政の充実・強化に関する意見書について 政府予算と地方財政の検討は、コロナ禍への対応も勘案しながら、歳入歳出を的確に見積もり、 地方財政の確立を目指すよう要望する意見書を提出しました。	原案可決
	国土強靱化に資する社会資本整備等に関する意見書について 防災・減災、国土強靱化に必要な予算を安定的かつ継続的に確保するための措置を講ずるよう 要望する意見書を提出しました。	原案可決
	大樹高等学校あり方調査特別委員会の設置及び委員の選任並びに付託について 大樹高等学校の現況と課題を調査研究し、永続的に存続するような方法を提言するため、特別 委員会を設置しました。	原案可決

## 広報広聴常任委員会



委員長 辻本 正雄  
副委員長 西山 弘志  
委員 松本 敏光  
委員 齊藤 徹  
委員 船戸 健二  
委員 寺嶋 誠一

## 編集後記

人と人のコミュニケーションの際、実は言語情報（ハーパー）7%、聴覚情報（ボーカー）38%、視覚情報（ビジュアル）55%という割合で影響を与えていると言われております。これをメラビアンの法則と言います。言語情報は僅か7%しかないのは驚きです。皆さまに、より議会活動をお知らせする手段として、今定例会より議会の様子をYouTubeで動画配信しておりますので、ぜひご覧ください。

委員 寺嶋 誠一